

**生物化学的測定研究会 第 22 回学術集会プログラム**  
**「診断・検出技術の最前線～実験室から実用化まで～」**

現在様々な高度先進医療が実用化されているが、それに伴う医療費の高騰は社会問題となりつつあり、早期診断・早期治療の重要性が叫ばれて久しい。このため新規の診断技術や、それらの開発に必要な高性能な検出技術に対する社会的ニーズは極めて高い。しかしながら既存の技術をベースにした診断・検出技術は頭打ちになってきており、基礎研究の成果に基づいた、全く新しい技術の開発・実用化が期待されている。本シンポジウムでは、アカデミックな基礎研究からベンチャーにおける実用化研究まで独自技術を研究・開発されている先生方を幅広くお招きし、最先端の技術開発の現状をご紹介頂く。診断技術・検出技術の関連分野に関心を持つ方々にとって、討論と親睦の好機となることを期待している。

■期日：2017年（平成29年）6月16日（金） 13:00～17:10

■場所：東京大学駒場キャンパス ファカルティハウス

（〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1（東京大学駒場キャンパス内））

■プログラム(予定)	
総会	13:00～13:20
開会の挨拶 学術集会長 太田邦史（東京大学大学院総合文化研究科 広域科学専攻 生命環境科学系 教授）	13:20～13:25
講演.1	13:25～14:05
DNA 二重らせん担持ナノ粒子を用いる精密バイオセンシング 前田 瑞夫（国立研究開発法人理化学研究所 主任研究員）	
講演.2	14:05～14:45
熱応答性磁性ナノ粒子を用いた高速高感度診断技術の開発 大西 徳幸（JNC 石油化学株式会社 次席企画員）	
講演.3.	14:45～15:25
電気化学バイオイメージング：原理と応用 末永智一（東北大学環境科学研究科 教授）	
休憩	15:25～15:35
講演.4	15:35～16:15
生物の嗅覚を用いてがんを検査する手法 N-NOSE の発明と実用化 広津 崇亮（九州大学大学院 理学研究院 生物科学部門 助教）	
講演.5.	16:15～16:55
うつ病の血液検査の開発 川村 則行（医療法人社団 行基会 川村総合診療院 理事長兼院長）	

総合討論・総活	16:55~17:05
閉会あいさつ	17:05~17:10
情報交換会	17:30~19:30

参加費：会員；3,000 円（要旨集込み）、非会員；5,000 円（要旨集込み）、  
 学生；参加費無料（要旨集 2,000 円）

情報交換会参加費：5,000 円

### 【 会場案内 】

井の頭線（吉祥寺方面行） 「駒場東大前」 駅下車

### 【 地図 】



問合先：生物化学的測定研究会事務局（担当：照沼・石川）

〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町2-7-1

京都電子工業株式会社 東京支店内

TEL：03-5227-3151 FAX：03-3268-5592

E-mail：[kem.basj@kyoto-kem.com](mailto:kem.basj@kyoto-kem.com)

HP：<http://www.basj.info>

## 参加申込

### (1) FAX での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へFAX 送付 (03-3268-5592)

### (2) E-mail での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へE-mail 送付 ([kem.basj@kyoto-kem.com](mailto:kem.basj@kyoto-kem.com))

### (3) 申込時の必要事項 (記載例)

生物化学的測定研究会第22回学術集会の参加を申し込みます。

会員種別 : 会員 (個人・法人)、非会員

交流会参加 : 参加、不参加

氏名 :

勤務先 :

郵便番号 :

住所 :

TEL :

FAX :

E-mail :

\*参加費は当日受付でお支払い下さい